

書面協議結果

番号	該当項目	意見の概要	市の考え方	主な部署
1	1-1商工業振興	従来型の企業誘致も否定はしないが、同じ誘致でもサテライトオフィス、テレワーク拠点の誘致の方が今の時代に即したのではないか。また、起業は無関心か。	総合計画の基本構想では、「テレワークにより、市内のどこでもいろいろな働き方ができる」や「君津でスタートした企業やお店等が賑わい」を将来の姿に掲げており、サテライトオフィスの誘致、テレワーク導入支援に積極的に取り組んでまいります。 御意見を踏まえ、4ページの「③地域を支える事業者の経営力強化」を次のとおり修正します。 (旧) ・専門のコーディネーターによる経営全般に関するアドバイスや資金融資制度などを通して、事業の拡大や経営の安定化を図ります。 (新) ・専門のコーディネーターによる経営全般に関するアドバイスや資金融資制度などを通して、事業の拡大や経営の安定化、 <u>起業の促進</u> を図ります。	経済部
2	1-1商工業振興	都内に立地する企業へのアンケートで、事業の移転・開設を予定している企業で移転開設の予定地域は東京について千葉県は第2位。 理由は東京への近接性、交通インフラの充実度、豊富な労働力。コロナ禍で、千葉県の人気が高まっている中、今は絶好のチャンスである。 このチャンスを逃す事のない様、企業誘致に注力した方がよい。	65～66ページでは、柱ごとの施策をパッケージ化し、戦略的に取り組むものとして「A 安心して働ける環境をつくる 豊かな自然環境や都心へのアクセス優位性など本市の特性を生かし、企業誘致や創業支援を通じて、多様な企業の立地や新たな産業の創出を図る」を掲げており、御意見のとおり、チャンスを逃すことのないよう、企業誘致に取り組んでまいります。	経済部
3	1-1商工業振興	「持続的な経済成長」という言葉よりも、「持続的な経済発展」という言葉にすべきではないでしょうか。	御意見のとおり、4ページを次のとおり修正します。 (旧) ①持続的な経済成長の実現 市が今後も持続的に経済成長を遂げていくために、 (新) ①持続的な経済発展の実現 市が今後も持続的に <u>経済発展</u> を遂げていくために、	経済部
4	1-2農林業振興	「1-2 農林業振興」の指標としては「①家族経営協定」よりも「新規就農者」や「農業法人」を用いるべきではないか。 家族経営協定は、家族農業経営に携わる各世帯員が経営に参画できる魅力的な農業経営を目指すものであるが、市の農業振興実現のための施策(多様な担い手確保、安定した農業経営の確立)の実現に直接結びつくものではない。 なお、家族経営協定締結のメリットの1つである「認定農業者の協同申請」を夫婦や親子で行った場合、その計画に基づく資金借入についても連帯で申請する必要があり、経営主と協同申請者となる妻(夫)や子には必要以上の負担が生じることとなる。	これまで多くの新規就農相談を受けていますが、就農に至るまでの農地や施設の確保をはじめ、就農後の経営、栽培技術管理に多くの課題があり、定着が難しい状況となっています。 新規就農後の安定経営には、特にパートナーの協力が就農後の定着に大きく影響しているといわれています。 また、既に担い手として活躍する農業者の後継者が円滑に経営を引き継いでいくことも重要です。 夫婦間、親子間などでの家族経営協定を推進し、パートナーや後継者も農業経営に参画することで、経営者としての意識を高め、個々の意見を経営に反映させる機会を設けることが農業経営の発展に繋がると考えました。 御意見のとおり、他業種からの新規参入や法人など新たな担い手の確保をすすめることも重要な課題となりますので併せて取り組んでまいります。	経済部
5	1-2農林業振興	コロナ禍で田舎暮らしの人气が高まっている。 新規就農希望者の受入体制を整え、優遇等により、農業者数を増やすチャンスだと思う。	ワーケーションなど、就農の形態は多様化してきていますが、専業や第一種兼業となると他業種と同様に一定の準備と経営感覚が必要と認識しております。 新規就農を円滑に進め安定した経営を行っていただくため必要なステップを整理し、就農者の定着に結び付くよう関係機関・団体や地域の農業者と連携し、チャンスを生かしてまいります。	経済部
6	1-2農林業振興	有害鳥獣対策については、令和3年より市とJAにおいて、毎月定例会を開催する中で協議されています。 今後も継続的な協議の中で、被害防止対策の実施及び、現状設置されている防護柵等の適切な設置指導等行っていきます。	御意見のとおり、連携して有害鳥獣対策に取り組んでまいります。	経済部

7	1-2農林業振興	農業従事者の高齢化や担い手不足の中で、今後、さらなる農地集積が担い手へ集まる事が想定されます。 このような中、必要な地域によっては、人農地プランによる土地改良の実施等進める事の検討が必要と思われる。	御意見のとおり、人・農地プランの策定や見直しを通じ、地域農業の方向性を定め、担い手への農地の集積、集約化を進めてまいります。 また、地域農業者等の話し合いにより、これを推進するため、地域一体で農地の再整備等の土地改良事業の要望に対しては、補助金等の支援をしてまいります。	経済部
8	1-3環境共生 2-1地域福祉	リサイクル率は県平均との比較、高齢化率は全国平均との比較であり、整合性がない。都合のよい数値との比較をしているのではないか。	御意見を踏まえ、9ページ及び14ページを次のとおり修正し、整合を図ります。 (旧) 9ページ：リサイクル率は、県平均を上回っています 14ページ：全国平均を上回る高齢化の進行 (新) 9ページ：リサイクル率は、 <u>全国平均及び県平均</u> を上回っています 14ページ： <u>全国平均及び県平均</u> を上回る高齢化の進行	市民環境部 保健福祉部
9	2-2高齢者福祉	ヤングケアラーを記述することで、若者が自分ごととして認識するのではないか。	ヤングケアラーについては、実態把握や早期の支援が重要であると考えています。 今後、教育委員会や介護事業者等とも連携して、市内のヤングケアラーの把握に努めるとともに、実態に応じて、事業対応等検討してまいります。	保健福祉部 教育部
10	2-5スポーツ推進	君津は水上スキーやモルック、ボッチャ等、注目されているスポーツがあるため、スポーツの町になってほしい。	競技団体や選手と連携・協力し、大会の開催やイベントの実施など、スポーツの普及・啓発に努めております。 御意見を踏まえ今後も、市民がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、市内外の人との交流による地域づくりを進めてまいります。	教育部
11	3-3生涯学習	図書館に求められているのは、資料を提供することではなく、資料に容易にアクセスできる環境を提供することではないか。	図書館は、市民が必要とする情報によりアクセスしやすい環境を提供することが求められていることを、改めて認識し、御意見を踏まえ、32ページの「③自主的に学び続けられる読書環境の整備」を、次のとおり修正します。 (旧) ・社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握し、市民が必要とする情報を提供することで自主的に学び続けられる読書環境づくりを推進します。 (新) ・社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握した図書館資料を収集し、市民が必要とする情報を入手しやすい環境づくりを推進します。	教育部
12	4-1防災・減災	災害発生時には支援や運営の「協力」ではなく、それらを主体的、自律的に行って戴く必要がある。	御意見のとおり、自立的・主体的に行動する市民を増やしていくことは重要であると認識しておりますが、段階的にそのような市民意識を醸成することが必要であると考え、「協力」という表現にしております。	総務部
13	5-1パートナーシップ	p.53「(1)施策の展開 ①市民と共につくるまちづくり」の項において、「・人口減少・脱炭素など長期的な課題について、将来の君津を担う世代の意見も聴きつつ対応を図ります。」といった文言を追加できないでしょうか。	御意見を踏まえ、53ページの「①市民と共につくるまちづくり」に次の記載を追加します。 (追加) ・様々な長期的な課題について、将来の君津を担う世代の柔軟な発想力や行動力も活かして取り組みます。	市民環境部
14	5-2地域コミュニティ	拠点を作れば公の仕事はお仕舞というのは昭和の考え方。手遅れにならないうちに地域支援員などの手当てを考えておくべき。	御意見のとおり、拠点施設を活用し、誰もが気軽に参加しやすいコミュニティ活動を推進するため、どのような支援や仕組みが求められるのか、地域支援員なども含めて先進事例を調査研究するとともに、それぞれの地域の実情にふさわしい組織体制を構築してまいります。	市民環境部 保健福祉部

15	5-3人権・男女共同参画	<p>「女性の社会進出」を阻んでいるのは、これが性的な役割意識を原因とするものだというステレオタイプな認識そのものである。</p> <p>例えば介護も保険で対応すると（少なくとも制度上、建前上は）なったわけで、男性か女性かより根本的な「育児や介護は社会で担うもの」という基本認識が市民に共有されていないことが原因ではないか。</p> <p>性別に依る固定的な役割意識が事実としてあるならば等閑視するものではないが、問題をそこに押し込めるのは安直すぎる。</p>	<p>市民意識調査の結果から、固定的な性別役割分担意識については、「男女とも仕事をし、家事や育児も分かち合うべき」と考えている方が多くを占めるなど、意識の面では変革が進んでいることが見えてきました。</p> <p>一方、実際には女性が育児や介護など家庭における役割分担の多くを担っている現状がありますので、ワークライフバランスの推進の必要性を新たに盛り込むなど、御意見を踏まえ56ページを次のとおり修正します。</p> <p>(旧)</p> <p>女性の就業率は上昇傾向にありますが、家事や育児、介護などは女性の役割と捉えられる傾向は依然として根強くあるなど、女性の社会進出を阻む要因の解消には至っていない状況です。性別による固定的な役割意識をなくしていくことが求められます。</p> <p>(新)</p> <p>女性の就業率は上昇傾向にありますが、家事や育児、介護などは女性の役割と捉えられる傾向は依然として根強くあるなど、女性の社会進出を阻む一因になっていると考えられます。性別による固定的な役割意識をなくしていくこととワークライフバランスの推進が求められます。</p>	市民環境部
16	5-4公共施設マネジメント	<p>将来にわたり使用していくことが見込まれる大規模施設とは何か。例えば、働き方改革が進めば、市役所すら不要になるかも知れない。</p> <p>むしろ、廃校、空き教室等を活用して小規模分室を多く作る方が住民にも地域にも防災面でも望ましいとさえ言える。</p>	<p>市役所本庁舎をはじめとする大規模施設につきましては、将来を見据えた施設整備が重要だと考えております。</p> <p>御意見のとおり、テレワークやDXの推進による働き方の変化や他の施設への機能分散などを踏まえ、公共施設の規模の見直しに取り組んでまいりますが、多くの皆様に御利用いただく必要のある施設もあるため、必要な更新費用を計画的に確保してまいります。</p>	企画政策部 教育部
17	5-6行財政マネジメント	<p>オープンデータは5-6行財政マネジメントのページでよいか。</p> <p>DXは商工のページに出てくるが、地域DXは前記基本計画に記載しなくてよいか。</p>	<p>オープンデータの意義として、「国民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決」、「行政の高度化、効率化」、「透明性・信頼性の向上」があげられます。</p> <p>オープンデータの活用等による諸課題の解決については、御意見のとおり、施策展開についても多岐にわたると認識しておりますが、多様化・複雑化する地域課題への対応、行政改革の一環として、行政の高度化、効率化、透明性・信頼性の向上の一つの手段として5-6行財政マネジメントが適当と考えております。</p> <p>また、地域DXについては、「1-2農林業振興分野のデジタル技術など新技術の導入」、「3-2学校教育のGIGAスクール構想」、「3-3生涯学習のデジタル技術の活用」、「4-6移動の自動運転技術の活用に向けた研究」、「5-6行財政マネジメントのデジタル技術を活用した施策や公共施設への公衆無線LAN導入、デジタルデバインド対策など地域のデジタル化を推進」などを計画に記載しており、また戦略的プロジェクトに「D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる」を定め、戦略的に取り組んでまいります。</p>	総務部
18	第2戦略的プロジェクト	<p>戦略的プロジェクトとして4つのテーマが政策パッケージとして示されていることは望ましいが、戦略である以上、これらがどのように連動して動いていくのか、ロードマップとともにさらに踏み込んだ説明が欲しい。</p> <p>各プロジェクトストーリーはよく描かれてはいるものの、市民の生活に即したものはなっていない印象を受ける。</p> <p>例えば、若い世代のことを考えれば、子育て支援は無論のこと、教育・就労・住宅・自然環境・余暇・情報・介護・老後など様々なことを考慮して人生設計をしていくのであって、それらがパーツごとに示されてもイメージが湧かない。</p> <p>政策のためのストーリーだけでなく、生活実態に即したストーリーをもっと描いていくべきではないか。</p>	<p>御意見のとおり、実態に即したストーリーは大変重要であると認識しております。</p> <p>若い世代の人生設計については、戦略的プロジェクトの「A 安心して働ける環境をつくる」として、女性の活躍支援やデジタル人材の育成などを掲げています。</p> <p>更に「B 子育て世代が住みやすいまちをつくる」では、住環境整備の他に妊娠・出産・子育てなどにおける支援体制と教育施策の充実を掲げ、若い時期のターニングポイントを意識した策定を進めさせていただいております。</p> <p>頂いた御意見を参考にしまして、人生の節目節目のライフイベントに当事者の目線で取り組んでまいります。</p>	企画政策部
19	第3拠点づくり	<p>第3 拠点づくり 1地区ごと 君津地区 [2] 君津インターチェンジ周辺において、「○君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり」として計画に掲げていただき、ありがとうございました。</p> <p>君津商工会議所では、君津インターチェンジ周辺のまちづくり事業を推進しておりますので、今後の計画策定の折には、是非とも協力していきたいと考えております。</p>	<p>御意見のとおり、君津インターチェンジ周辺は、都市的な土地利用が厳しく制限されており、現状も都市的な土地利用には結びついておりませんが、総合計画（基本構想）では、新たな産業の受け皿づくりとして位置付けたところです。</p> <p>また、改定を進めている都市計画マスタープランにおいても、土地利用検討地として位置付け、立地特性や利便性の高さを活かした土地利用の方針を検討しております。</p> <p>今後も、様々な方々と協力し、君津インターチェンジ周辺のまちづくりに取り組んでまいります。</p>	企画政策部 経済部 建設部

20	第3 拠点づくり	<p>第3 拠点づくり 1地区ごと 君津地区〔1〕君津駅周辺 現状で「小糸川を挟んだ南側は、大部分が農地として広がるなか、近年では幹線道路の整備が進み、宅地利用も進んでいます。」としていますが、貞元・中富地区の将来像が明確に見えない形ではないかと感じます。</p> <p>将来的には、君津駅に一番近い、住宅開発地区として、また、隣接の富津市との連携道路の接合点として、考えていくべきと思いますが、どうでしょうか。</p>	<p>近年、土地区画整理事業を実施した場合は、高減歩率による土地所有者の負担が大きいことがわかり、事業を見送った経緯や浸水想定区域に指定されたことを踏まえ御意見のとおり貞元・中富地区の将来像を住宅開発地区として明確に位置づけられない状況です。</p> <p>現在は、都市計画法及び千葉県条例に基づき、無秩序な開発が進まないように規制と誘導を行っており、君津駅に近く、幹線道路も整備されている点を踏まえ、今後も土地利用のあり方について研究を進めてまいります。</p>	企画政策部 経済部 建設部
21	第3 拠点づくり	<p>拠点づくりとして、各地区の特徴を描き、その中で各地域資源の活用と公共サービスの平準的な配置が示されているが、「市民」の顔が全く見えてこないのは残念である。</p> <p>地域の拠点づくりには、市民自治の発想が必要不可欠であって、自分たちの地域を自分たちの発想と力で盛り上げていくことができる環境づくりが求められる。</p> <p>かつては市民参加や協働が熱心に謳われていたと記憶しているが、この素案ではそれがすべて削除されてしまっているのは大いに疑問である。</p>	<p>御意見のとおり、地域の拠点づくりにおいては行政だけでなく、市民、事業者などオール君津が連携、協働しながら、みんながまちづくりを「自分ごと」として捉え、主体的に取り組むことが重要だと認識しております。そのため、74ページを次のとおり修正します。</p> <p>(旧) 全国的に少子高齢化や人口減少が進むなか、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる環境を整えるためには、限られた資源を効果的に活用する必要があります。</p> <p>このため、産業や生活サービス機能等が集約した場所を形成することで、地区の活力を牽引する拠点づくりを行います。</p> <p>(新) 全国的に少子高齢化や人口減少が進むなか、行政だけではなく、市民、各種団体、事業者、関係人口などオール君津で立場を超えて連携、協働しながら、みんながまちづくりを「自分ごと」として捉え、主体的に取り組むことが求められます。また、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる環境を整えるためには、限られた資源を効果的に活用する必要があります。</p> <p>このため、市民等が主役となってまちづくりを行い、地域の課題解決に向けて取り組むとともに、産業や生活サービス機能等が集まる場を形成することで、地区の活力を牽引する拠点づくりを行います。</p>	企画政策部 市民環境部
22	第3 拠点づくり	<p>地区連携や広域連携は極めて重要であるが、素案ではデジタル技術や公共インフラの話に限られており、どのような原則で連携を図っていくのか、それによってどのような方向性を目指すのか、といった視点が十分に説明されていない。</p> <p>また、関係人口などに象徴されるように、市外との様々な関係性を多角的に構築していくことも、地区・広域連携の重要な課題である。市外との資源循環ももっと考えるべきではないか。</p>	<p>御意見のとおり、市内外での地区連携や広域連携は重要な課題であると認識しております。</p> <p>第3 拠点づくりでは、基本構想の将来ビジョンで掲げた「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を目指し、地区間連携により市域全体の魅力向上に取り組むとともに、広域連携により市外との様々な関係性を多角的に構築するため、むすびつきをより一層強化し、直面する行政課題に対して広域的に連携して取り組むこととしていきます。</p> <p>御意見を踏まえ様々な連携が進むよう、取り組んでまいります。</p>	企画政策部
23	総合計画全体に関すること	<p>総合計画の施策に対応するSDGsの17の目標(ゴール)を示したことは、評価できるものであります。</p> <p>今後は、関連する主な個別計画についても、新たに策定する計画や計画期間満了に伴い、再度、計画を策定する際には、SDGsの17の目標を、それぞれの計画の施策ごとに掲げるよう要望します。</p>	<p>総合計画は経済・社会・環境のバランスの取れたまちづくりを考えるなど、SDGsの視点を踏まえた計画とし、17のゴール全てに対応しており、総合計画に基づく施策を推進することでSDGsの目標達成に貢献していきます。</p> <p>今後、新たに策定する個別計画においても、総合計画の視点を踏まえ、策定を進めてまいります。</p>	企画政策部
24	総合計画全体に関すること	<p>どの分野においても、人口が増えなければ達成は難しいと思う。</p> <p>分譲地、マンション等の開発、企業誘致等に注力することが必要だと思う。</p>	<p>戦略的プロジェクトに「A 安心して働ける環境をつくる」「B 子育て世代が住みやすいまちをつくる」を位置づけております。</p> <p>新たな企業誘致候補地としての活用も視野に入れ、君津インターチェンジ周辺の土地利用につきまして、規制の緩和に向けた国の制度等の活用や君津市都市計画マスタープランの見直しなど、千葉県等とも連携しながら、あらゆる手法を検討し、取り組んでまいります。</p> <p>また、現在策定に取り組んでいる立地適正化計画の中で、まちなか居住の推進をはじめ低未利用地の誘導方策などについても検討してまいります。</p>	企画政策部 経済部 建設部
25	総合計画全体に関すること	<p>該当ページではありませんが、それぞれの目標数値の根拠が分からないので、まずそれを知りたいです。</p> <p>例えば、過去の推移が右肩下がりなのに、目標は右肩上がりだとすると「根本的に何故？」と言わざるを得ないでしょうし、それが本当に目標になり得るのか？</p> <p>また、達成可能の度合いを知るためににも、最終目標値への年率が表記されていると非常に分かりやすいです。あるいは、年次実数幅。</p>	<p>目標の数値、指標につきましては、各施策分野に記載している概要に対応し、過去からの推移や今後予測される社会環境の動向等を総合的に勘案し、設定させていただきました。</p> <p>この達成可能の度合いにつきましては、毎年度、総合計画の評価を行う中で数値を管理し、御意見を踏まえて効果的・効率的に実施してまいります。</p>	企画政策部

26	総合計画全体に関すること	<p>書面では、そもそもの皆さんの真意が問えず、出来ましたらWEB開催をお願いします。</p>	<p>戦略的プロジェクトとして「Dデジタル技術を活用して新たな価値をつくる」を掲げ、デジタル技術を活用したDXにより、WEB開催を含み、様々な課題を解決していくことを掲げており、御意見に添えるよう図ってまいります。</p>	企画政策部
27	総合計画全体に関すること	<p>総合戦略が基本計画の中に組み込まれたことは望ましいが、SDGsとの整合性に重きが置かれてしまい、5つの柱が相互のどのように結びついてくるのか、柱・プロジェクト・拠点がどのようにつながってくるのか、という点がかかなり曖昧になっている。 全体として、ヒト・カネ・モノの流れがパーツとしては示されているが、それらが地域づくりをどのように活性化していくのか、具体的なイメージが湧きづらい印象を受ける。</p>	<p>基本構想では、将来ビジョン「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を掲げております。 この将来ビジョンを実現するために、分野ごとの柱を5つ示しております。 戦略的プロジェクトは、将来ビジョンの実現を加速させるために、テーマごとにパッケージ化したものとなります。 拠点づくりは、将来ビジョンの実現に向けて、主に土地利用の視点から柱ごとの施策を整理しております。 これらの内容は、市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者・千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ及びタウンミーティングなど、令和2年度から市民との対話を重ね、検討してまいりました。 御意見を踏まえ、ひとりでも多くの市民の方々に具体的なイメージが湧く様、策定してまいります。</p>	企画政策部
28	用語集	<p>再生可能エネルギー 原案 太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱など、自然界に存在し、永続的な利用が可能と考えられるエネルギーのこと。 修正案 太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・バイオマス（生物資源）など、自然界に存在し、資源基盤が自然の力で更新されるエネルギーのこと。 理由 バイオマスも再生可能エネルギーである。更新速度を超えて利用すると永続的には利用できない。</p>	<p>御意見をもとに、次のとおり修正します。 (旧) 太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱など、自然界に存在し、永続的な利用が可能と考えられるエネルギーのこと。 (新) 太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・バイオマス（生物資源）など、自然界に存在し、自然の力で再生されるエネルギーのこと。</p>	市民環境部
29	用語集	<p>循環型社会 原案 限りある資源を効率的に利用し、リサイクルなどで循環させながら、将来にわたって持続して使い続けていく社会のこと。 天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のこと。 修正案 限りある資源を効率的に利用し、リユースやリサイクルなどで循環させながら、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を自然の力で同化できる程度に低減した社会のこと。 出典が不安です。原案の一文目は、エバーグリーン・マーケティング株式会社のコラムに書かれた循環型社会の定義に酷似しています。他の用語についても再点検していただき、可能な限り出典を明らかにするようにお願いします。</p>	<p>御意見をもとに、次のとおり修正します。 (旧) 限りある資源を効率的に利用し、リサイクルなどで循環させながら、将来にわたって持続して使い続けていく社会のこと。 天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のこと。 (新) ごみの減量化・再資源化を図ることで、限りある資源を効率的に利用し、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のこと。</p>	市民環境部